

テクノポリス10年後の姿—熊本で地方の時代が実を結ぶ。

〈再び、活き活きとした熊本県の姿〉

テクノポリス建設が進められていくことにより、計画地域の人口や経済は、比較的順調に伸びていくことを確認することができます。

テクノポリス建設の中で、研究開発のための施設や研究者、技術者が集まり、地域の工業の分野での技術集積が高まっていますが、それとともに企業の間での技術の結びつき、移転、新しい技術開発への取り組みが、計

画地域をこえ、県下全域で展開されていきます。また、異った産業や企業間の交流も活発になり、県南・県北などの工業地域でも、新しい工業活動が活き活きと繰り広げられていき、県工業全体が技術に裏打ちされて質的に高度化していきます。

更にバイオテクノロジー技術の活用や応用、応用機械の開発などが農林漁業の増産、収穫の安定に寄与し、あるいは働く環境の改善をもたらすなど、先端技術産業の

定着、成長が、県下の一次産業にも非常に大きな恩恵をもたらしていくことは確実です。

このように、テクノポリス建設による効果は県の経済に大きな効果を及ぼし、それはまた、時間的な経過をたどりながらも、県下全域に浸透していくことが確信されます。

県経済の活き活きとした動きにより、県民所得が向上

し、また、新しい雇用の機会が生れてくることにより、これまで県外へ出ていった人々の県内へのいわゆるUターン・Jターンなども進み、人々は確信を持って熊本での将来像を描くことができ、熊本の地域社会に再び新たな活気が戻ってくるでしょう。

テクノポリス建設は、熊本に地方の時代を実現していく原動力になるのです。

